

平成20年1月30日(水)	県政記者クラブ配布資料	
	大垣市政・経済記者クラブ配布資料	
担当部署	担当者	電話
(財)岐阜県産業経済振興センター 情報支援部	藤澤昌利	058-277-1082
岐阜県立大垣工業高等学校 電子機械科	山下泰司	0584-81-1280

工業高校生が地元金型企業の若手社員から職場体験談を聞き、将来の働く姿をイメージする「目指せ！金型マイスター」を開催します。(取材依頼)

大垣工業高校の2年生が、地元企業で金型生産に携わる若手社員から、「仕事でうれしかったこと」、「失敗したときにどうやって乗り越えて来たか」、「高校時代に身につけておきたいこと」など職場の体験談を聞き、質問をぶつける座談会を開催します。

産業の基盤を支える金型をモデルにして、地元企業の職場を知り、ものづくりの現場で働くことについて理解を深めます。

1. 日時 平成20年2月4日(月)、2月20日(水) 13:15～15:05
両日とも開催内容は同じです
2. 場所 岐阜県立大垣工業高等学校 豊栄館2階
大垣市南若森町301-1 TEL 0584-81-1280
3. 参加者 大垣工業高校の機械科、電子機械科、電子科に在籍する2年生 160名

2月4日	: 2年1・2組(機械科)	79名
2月20日	: 2年3組(電子機械科)・8組(電子科)	81名
4. 講師 地元企業で金型生産に携わっている若手社員 8名

岐阜県金型工業組合	会員企業5社の社員
企業名(50音順):	朝日興業(株)、(株)大垣精工、城山産業(株)、 (有)富田鉄工所、(株)丸順
5. スケジュール

時間	次第	内容
13:15～13:25	開講式	1) 挨拶：大垣工業高校 2) 挨拶：岐阜県金型工業組合
13:25～14:50	若手社員と語る会	1) 金型の世界へようこそ：岐阜県金型工業組合 職場で求められる人物像について、経営者の視点からお話を伺います 2) 若手社員と語る会(20分×3回) 10人程度のグループに1人ずつ若手社員が入り、座談会形式の会を入れ替わり3回開きます
14:50～15:05	閉講式	1) お礼の言葉：生徒代表 2) アンケート記入

6. 学習目標

- ・ 地元企業で金型製造に携わる若手社員の方から職場の体験談を聞き、ものづくりの現場で働くことについて理解を深める。
- ・ 5年後、10年後の将来像についてイメージを膨らませる。
- ・ 金型をモデルにし、製造現場を支える技術・技能が、高校での学習内容とどうつながっているのかを学ぶ。

若手社員の方からお話しいただくこと

「仕事でうれしかったこと」「失敗したときにどうやって乗り越えて来たか」「入社後に受けた研修」「職場のここが自慢」「高校時代に身につけておきたいこと」等

【特長】

- ・ 生徒の理解を深めるため、今回の「語る会」に先立ち（平成20年1月24日）、岐阜県金型工業組合が中心となって作成したオリジナルのテキストを使って、金型業界の特徴や職場の様子、必要とされる技術・技能などを学ぶ授業を行いました。
- ・ 大垣工業高校では、「ものづくり名工塾（平成18・19年度）」や「身近な製品で学ぶ金型の世界（平成19年度）」など、これまで地元産業界の協力を得て、「金型」をテーマとする学習を行ってきました。
- ・ 従来も卒業生を学校に迎えて「先輩と語る会」を開催していますが、今回のように規模が大きく、また、金型というテーマを持って開催するのは初めての試みです。

7. 主催 (財)岐阜県産業経済振興センター、岐阜県教育委員会、岐阜県

8. 協力 岐阜県金型工業組合

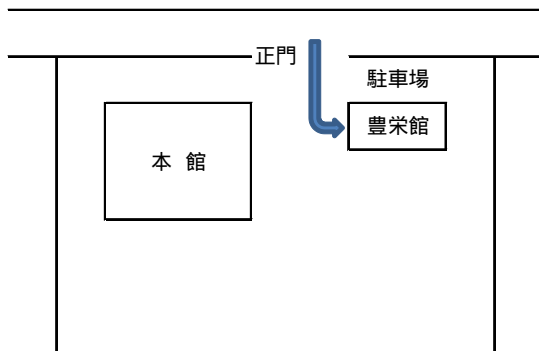
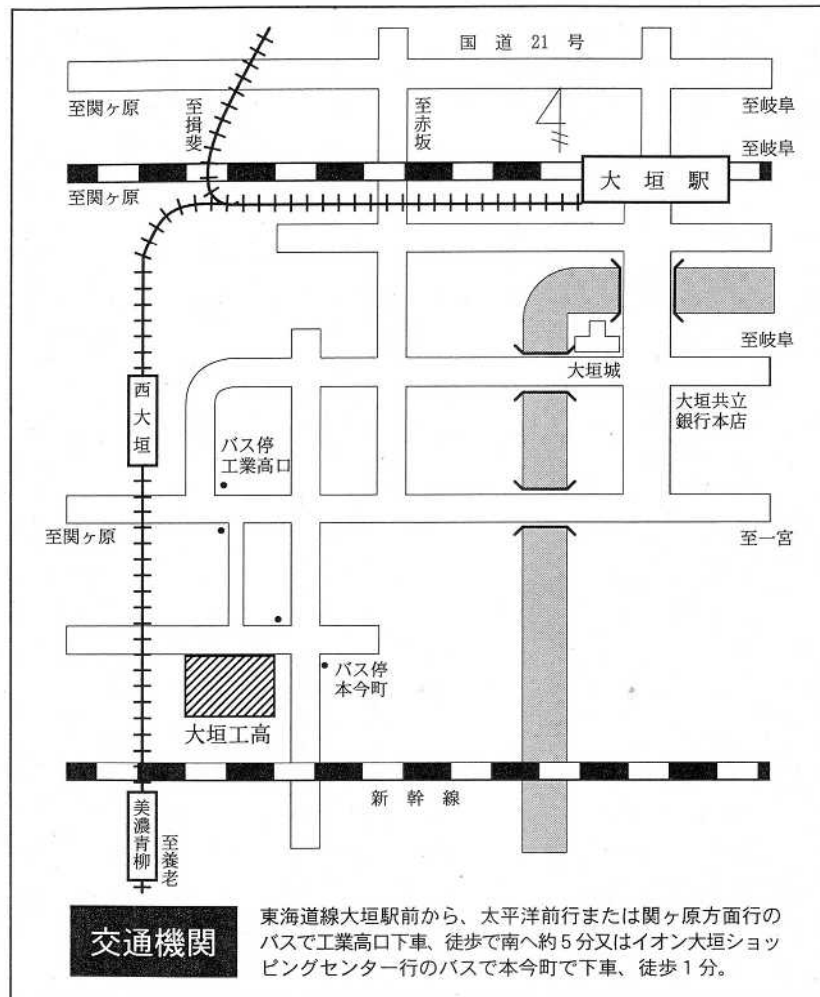
昭和45年（1960年）発足。研修会、資料提供・技術情報の伝達、福利厚生事業などを実施。岐阜県単一の団体で会員企業41社。

理事長：黒田隆、所在地：岐阜市柳津北塚4-85（TEL 058-387-2096）

9. その他 この事業は、岐阜県、岐阜県教育委員会、(財)岐阜県産業経済振興センターが経済産業省及び文部科学省の支援を受けて取り組む「工業高校と地元産業界とが連携した若手ものづくり人材育成事業」の一環として開催します。

会場案内

岐阜県立大垣工業高等学校	
所在地	〒503-8521 岐阜県大垣市南若森町301-1
電話番号	0584-81-1280
FAX	0584-74-9324
ホームページ	http://www.grn.mmtr.or.jp/~daikou/index.html



豊栄館は正門を入れてすぐ東側の建物です
 駐車場は豊栄館の北側にあります

工業高校と地元産業界とが連携した 若手ものづくり人材育成事業について

岐阜県、岐阜県教育委員会、(財)岐阜県産業経済振興センターは、経済産業省および文部科学省の支援を受けて、平成19年度から3か年間の計画で、工業高校と地元産業界とが連携した若手ものづくり人材育成事業に取り組んでいます。(平成19年6月8日付けで両省の公募提案事業に採択。全国で23地域が指定。)

具体的には、岐南工業高等学校、岐阜工業高等学校、大垣工業高等学校の3校をモデル校とし、地元機械金属関連業界の協力を得て、下記のような「技能教育の充実」と「地域資源の活用」を両輪とする実践的なキャリア教育を展開しています。

これらの取り組みにより、高校で学んだ技術や知識を職場で応用できる力を身に付けた“伸びしろの大きい生徒”を地元産業界に送り出したいと考えています。

<平成19年度 実施計画>

(1) 技能教育の充実 【3校共通プログラム】

メニュー	場 所	実施時期
高度熟練技能者による「ものづくり道場」	各高校の実習室	9～2月
最新機器に触れる体験研修	国際たくみ アカデミー	10/17・19 11/13・14
スペシャリスト教員の養成講習	"	8/13～14
高度技能習得に必要な機器整備	各高校の実習室	順次

(2) 地域資源の活用 【テーマ(高校)別プログラム】

メニュー	場 所	実施時期
カイゼン 主研究校：岐南工業高等学校		
高校生のための改善塾	(株)東伸	8/17～19
工場長から学ぶ生産管理	高校の実習室他	9～12月
スペシャリスト 主研究校：岐阜工業高等学校		
比べてインターン・シップ	金属工業団地	8/27～29
なっとくインターン・シップ	地元企業の工場	10～11月
弟子入りインターン・シップ	高校の実習室他	9～1月
金 型 主研究校：大垣工業高等学校		
身近な製品で学ぶ金型の世界	高校の教室、 地元企業の工場	10～11月
目指せ！金型マイスター	高校の教室	1/24, 2/4・20